

PB パーキングブレーキ

パーキングブレーキ	2	・調整	4
・構成図	2	・パーキングブレーキシュー	5
・取り外し、取り付け	2	サービスデータ	9
・点検	4	・パーキングブレーキ	9

A

B

C

D

E

PB

G

H

I

J

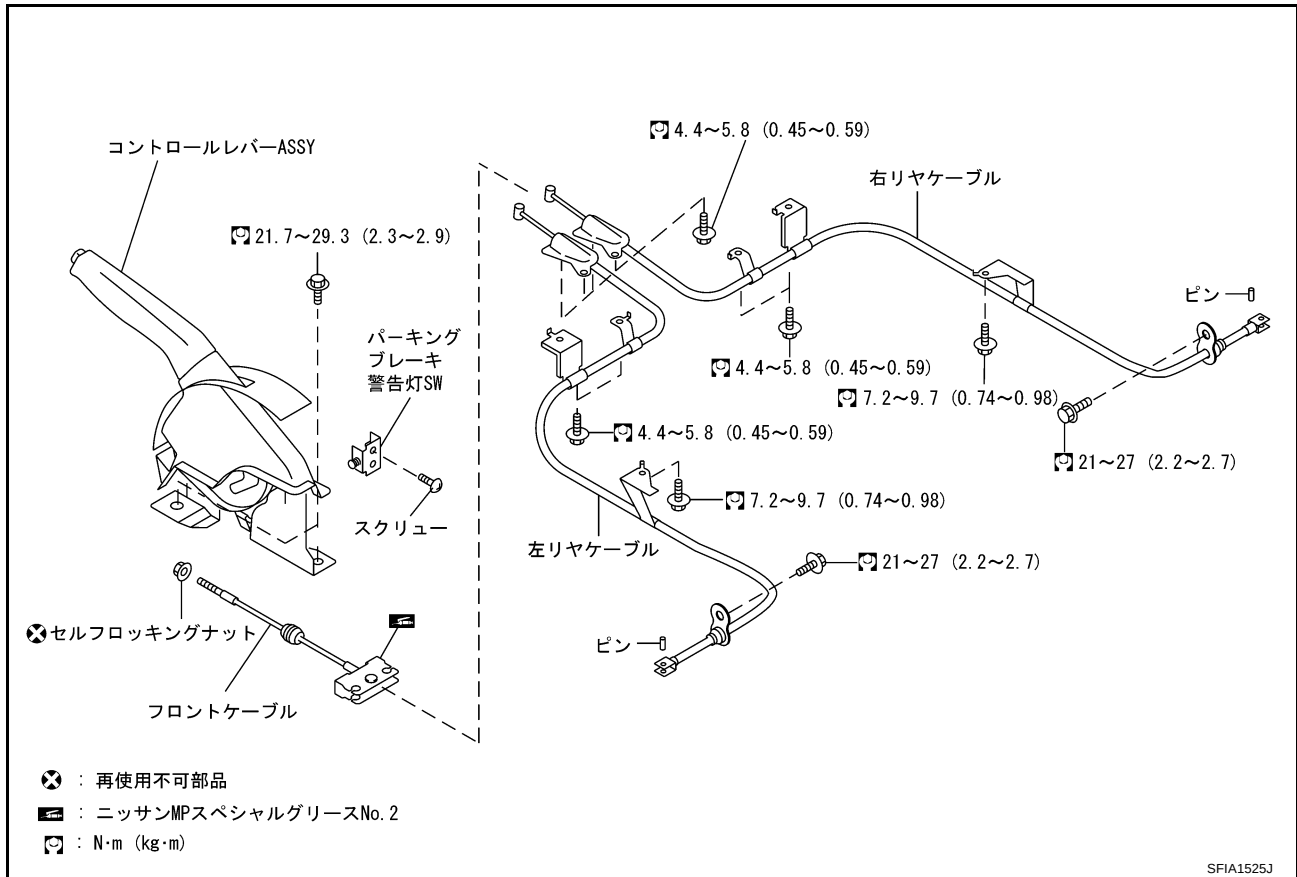
K

L

パーキングブレーキ 構成図

PFP:36010

JFS000WC



SFIA1525J

取り外し、取り付け

JFS004YG

取り外し

1. 車両からタイヤを取り外す。
2. パーキングブレーキを解除する。
3. センターコンソールを取り外す。[「インストルメント ASSY」\(IP-4 ページ\)](#) を参照すること。
4. パーキングブレーキ警告灯スイッチのコネクターを外す。
5. セルフロックングナットを外し、コントロールレバー ASSY とフロントケーブルを分離する。
6. コントロールレバー ASSY の取付ボルトを外し、コントロールレバー ASSY を車両より取り外す。
7. フロントケーブルとリヤケーブルを分離し、フロントケーブルを車両より取り外す。
8. 遮熱板を車両より取り外す。
9. リヤケーブルの取付ボルトを外し、リヤケーブルを室内から引き抜く。
10. リヤディスクローター及びパーキングブレーキシューを外し、トグルレバーよりリヤケーブルを取り外す。リヤディスクローターの取り外しは[「キャリパー ASSY の取り外し、取り付け」\(BR-29 ページ\)](#)、パーキングブレーキシューの取り外しは[「パーキングブレーキシュー」\(PB-5 ページ\)](#) を参照すること。

取り付け

1. 各締付トルク等については「[構成図](#)」(PB-2 ページ) を参照し、取り外しと逆の手順で行う。

注意：セルフロックングナットは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

2. パーキングブレーキを調整する。「[調整](#)」(PB-4 ページ) を参照すること。

A

B

C

D

E

PB

G

H

I

J

K

L

パーキングブレーキ

点検

JFS000WE

- パーキングブレーキレバーを 196 N {20kg} の力で操作したとき、引きしろが規定のノッチ数（ラチェットがかみ込む音で確認）の範囲にあるかを点検する。

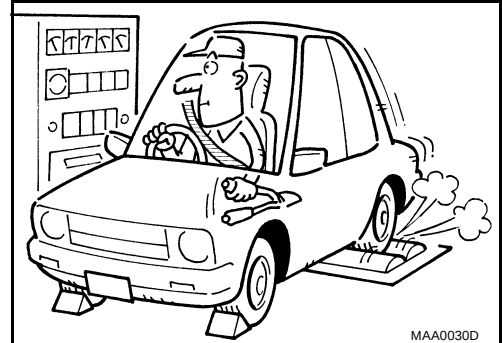
引きしろ : 6 ~ 7 ノッチ

- ブレーキテスターを使用して、後輪制動力が規定値となっているか点検する。

制動力 : 車両重量の 20%以上

操作力 : 390 N {40kg} 以下

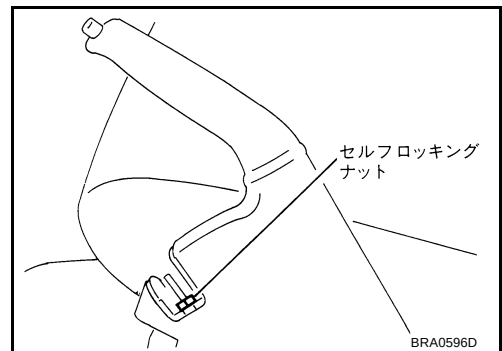
- パーキングレバー ASSY の曲がり、損傷及びひび割れがないか点検し異常がある場合は交換する。
- ケーブルの摩耗、損傷がないか点検し、異常がある場合は交換する。
- パーキングブレーキ警告灯スイッチを点検し、異常がある場合は交換する。
- 各部品を点検し変形、他部品との接触による損傷がないか確認し、異常がある場合は交換する。



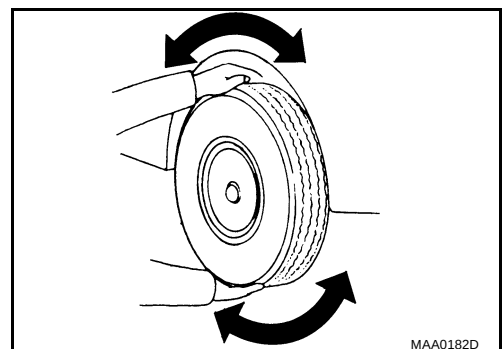
調整

JFS000WF

- ディープソケットレンチを差し込んでセルフロックングナットを回転させケーブルを十分緩めた後、レバーを戻してからリヤのシュークリアランスを調整する。



- ロードホイールを回転させて、引きずりが無いことを確認する。
- リヤのシュークリアランスを調整後、リヤブレーキの引きずりが無い状態で、ケーブルの調整を下記の手順で行う。
 - パーキングブレーキレバーをディープソケットが入る位置まで引き上げる。
 - パーキングブレーキレバー開口部にディープソケットレンチを差し込み、セルフロックングナットを回転させてパーキングブレーキレバーの引きしろを調整する。



注意：セルフロックングナットは再使用不可部品のため、取り外した場合は再使用しないこと。

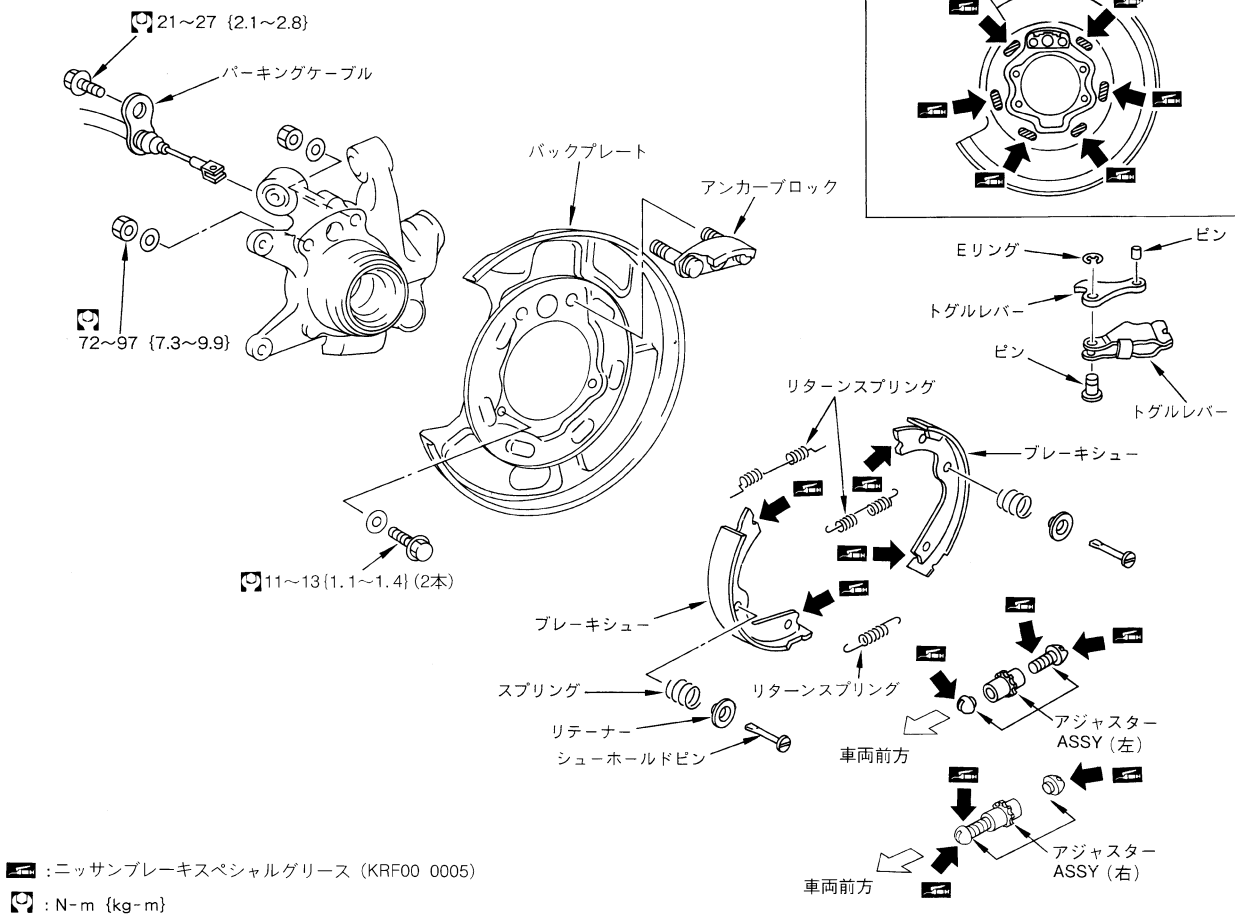
- パーキングレバーを操作力 196 N {20kg} で 3 ~ 4 回操作した後、引きしろが規定のノッチ数になっていることを確認する。
- パーキングレバーを完全に戻した状態で、リヤブレーキの引きずりが無いことを確認する。

パーキングブレーキシュー

JFS000WG

パーキングブレーキシュー

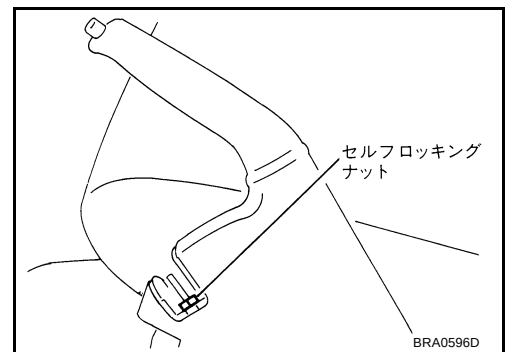
SEC. 44 I



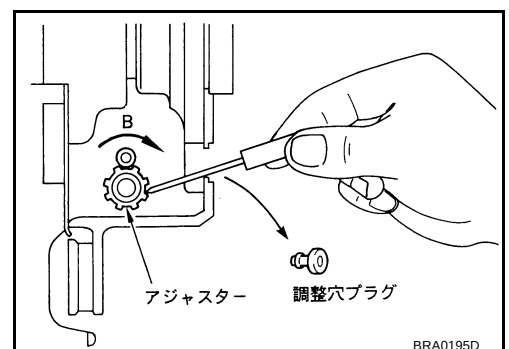
取り外し

注意: ディスク及びバックプレート内等の粉じんは集じん機で集め清掃すること。

- ホイールを取り外し、パーキングレバーをディープソケットが入る位置まで引いた状態でセルフロックングナットを緩めケーブルをたるませた後、レバーを戻す。
- リヤディスクブレーキキャリパーを取り外す。[「キャリパー ASSY の取り外し、取り付け」\(BR-29 ページ\)](#)を参照すること。

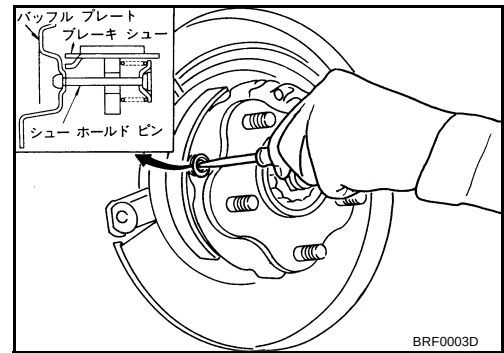


- ディスクローターを取り外す。ディスクが外れない場合は、下記要領で取り外す。
 - 図のようにディスクに取り付けてある調整プラグを取り外し、ドライバーなどで、アジャスター ASSY のコマを締め B 方向に回転させ、広がったシューを縮める。

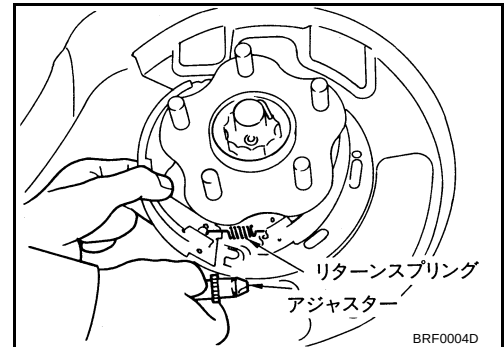


パーキングブレーキ

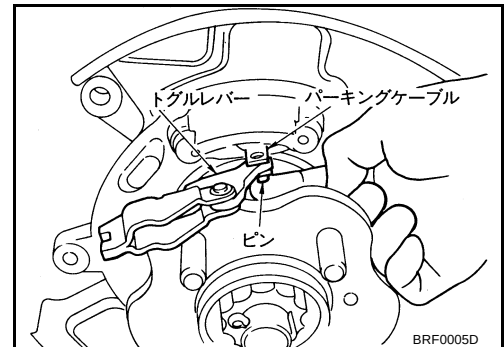
4. シューホールドピン（2 本）を図のようにリテーナーを押して、スプリングを押し縮め、バックプレートの取付穴より外す。



5. シューを広げ、アジャスター ASSY を先に外してからロア側のリターンスプリングを取り外す。



6. 図のようにトルクレバーとパーキングケーブルの接続ピンを抜き、トルクレバーを取り外す。



点検

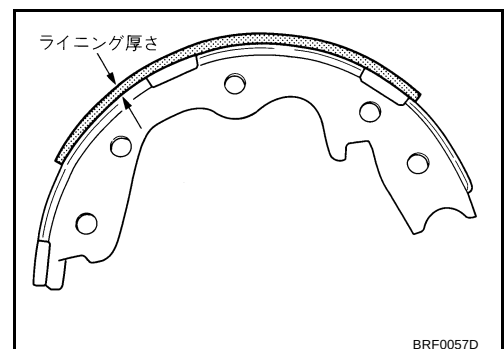
- ライニングの異常な摩耗や損傷、はく離がないか目視などにより点検する。
- ライニングの厚さをスケールなどにより点検する。

標準厚さ : 3.5mm

限度厚さ : 1.5mm

注意： 必要がある場合には、ブレーキシューを取り外し、次の点検を行う。

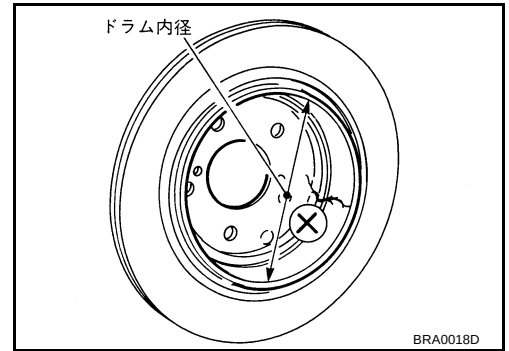
- シューのしゅう動部に異常な摩耗や損傷がないか。
- シューホールドピンに異常な摩耗がないか、また錆付いてないか。
- リターンスプリングのへたりがないか。
- アジャスターがスムーズに作動するか。



パーキングブレーキ

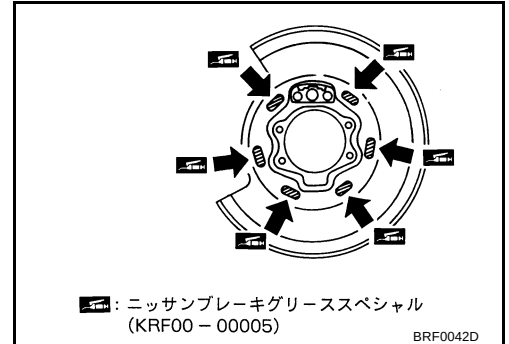
- ・ドラム内に異常な摩耗、き裂、損傷などがないかを目視又はノギスなどにより点検する。

標準内径 : $\phi 172\text{mm}$
 限度内径 : $\phi 173\text{mm}$

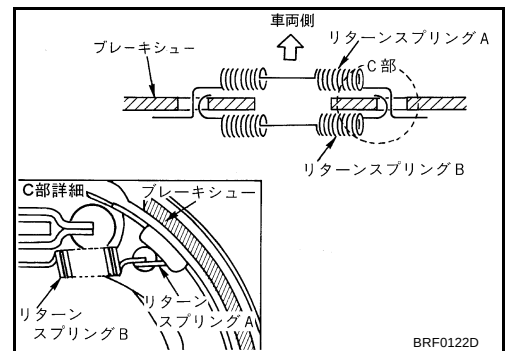


取り付け

1. バックプレートの図斜線部位にニッサンブレーキスペシャルグリス (KPF000005) を塗布した後、組付ける。

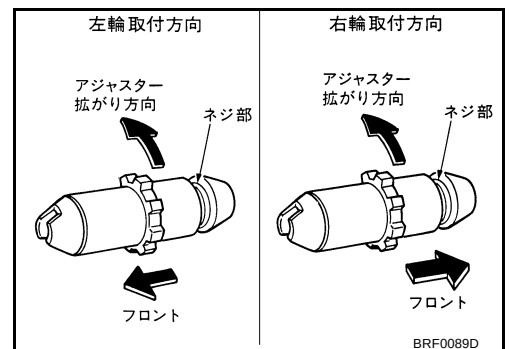


2. 図のようにアッパー側リターンズpring 2本をブレーキシューに取り付ける。このとき、リターンズpring B がリターンズpring A の上側となるように取り付けること。



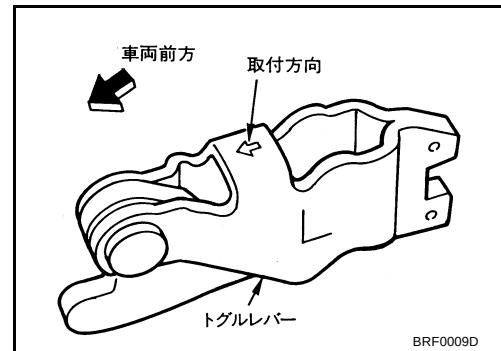
3. アジャスターは左右の取付方向が違うので図のようにアジャスターを矢印方向に回転させたときアジャスターのネジ部が広がるように組み付ける。また、アジャスターは縮めた状態で組み付けること。

注意: アジャスターを分解した場合は、ネジ部にニッサンブレーキスペシャルグリス (KRF0000005) を塗布すること。

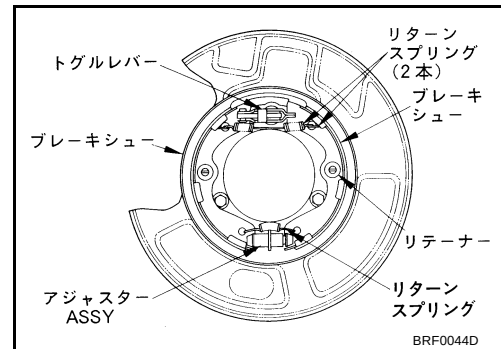


パーキングブレーキ

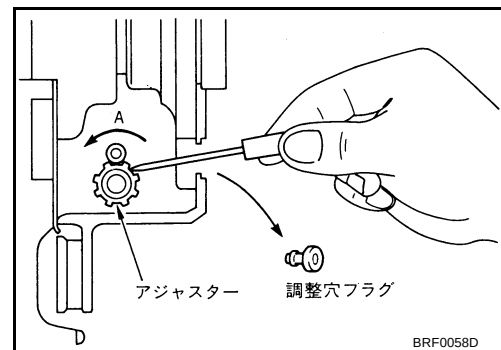
4. 図のようにトルクレバーを取付方向に合わせて組み付ける。



5. 組み付け後、各部品が正規に取り付けられていることを確認する。



6. ディスクローターをホイールナット等で固定し、シューのクリアランスを調整する。整備要領は、調整穴プラグを外しディスクローターがロックするまで図 A 方向（左右輪共同じ）に回す。ロックした状態からアジャスターのコマを逆方向に 6 山もどす。
7. ディスクローターを回転させ、引きずりが無いことを確認し、調整穴プラグを取り付ける。
8. パーキングケーブルを調整する。[「調整」\(PB-4 ページ\)](#) を参照すること。



注意： シューを新品に交換した場合は下記条件で実車走行によるパーキングブレーキのならし（引きずり走行）を行う。

前進方向

- ・車速 約 5km/h 一定（前進方向）
- ・パーキングブレーキ操作力 約 250N（26kg）一定
- ・慣らし時間 約 30 秒

サービスデータ
パーキングブレーキ

PFP:00030
JFS000WH

型式		DS17H
ライニング	標準厚さ（新品時厚さ）	3.5mm
	限度厚さ	1.5mm
ドラム（ディスク）	標準内径（新品時内径）	φ172mm
	限度内径	φ173mm
引きしろ（操作力 196N{20kg}）		6 ～ 7 ノッチ
全ストローク		18 ノッチ
ブレーキ警告ランプ点灯ストローク		1 ノッチ以内

A

B

C

D

E

PB

G

H

I

J

K

L

